

豊岡市立城崎温泉交流センター整備基本計画

2025年3月
豊岡市

目次

はじめに	・ ・ ・ ・ ・	1
1. 基本理念	・ ・ ・ ・ ・	3
1-1. 施設の基本的な考え方	・ ・ ・ ・ ・	3
1-2. 施設のコンセプト	・ ・ ・ ・ ・	4
2. 施設計画	・ ・ ・ ・ ・	5
2-1. 施設全体の構成	・ ・ ・ ・ ・	5
(1) 温浴機能		
(2) ふれあい機能		
2-2. 施設整備を行う上での考え方	・ ・ ・ ・ ・	5
2-3. 施設全体	・ ・ ・ ・ ・	6
2-4. JR西日本との連携・協議	・ ・ ・ ・ ・	7
3. 施設運営についての考え方	・ ・ ・ ・ ・	8
3-1. 施設運営方法	・ ・ ・ ・ ・	8
3-2. 入浴料金体系について	・ ・ ・ ・ ・	8
4. 市営城崎温泉駅前駐車場について	・ ・ ・ ・ ・	9
5. 整備スケジュール（予定）	・ ・ ・ ・ ・	9
6. 施設整備の進め方	・ ・ ・ ・ ・	9
(資料) 城崎温泉交流センター基本計画検討会	・ ・ ・ ・ ・	10

はじめに

城崎温泉交流センター（以下「さとの湯」という。）は、城崎温泉の七つの外湯の一つとして、長年にわたり市民や観光客の皆様に親しまれてきました。

しかし、施設の老朽化が著しく、建物の安全性の確保や設備の更新が喫緊の課題となっていたほか、施設規模の関係上、光熱費や人件費などのランニングコストが多大となり、経営を圧迫する要因となっていました。

このような状況に加え、浴室の天井の劣化が進行し、大変危険な状態が判明したことから、利用者の安全確保のため、2024年3月末を以て休館しました。

こういった「さとの湯」の現状も含め、それぞれ課題を抱えている城崎地域の公共施設の在り方を地域の皆様とともに考える場として、豊岡市公共施設再編計画に基づき、2021年度に策定した「豊岡市地域デザインプラン」の内容も踏まえ、2023年度に「城崎地域公共施設在り方検討会」を開催しました。

この検討会では、地域にとって望ましい公共施設のあり方について多岐にわたって議論いただきました。特に、城崎の歴史や文化を継承し、新たな魅力を創出する拠点の必要性が強く認識され、複数の公共施設の機能を集約することで、効率的な運営と質の高いサービス提供を目指す方向性が確認されました。

この協議結果を尊重し、2023年11月に豊岡市として、城崎文芸館・城崎麦わら細工伝承館の機能を集約した新しい「さとの湯」を整備するという方針を決定しました。

この度、この方針に基づき、地域の皆様と協議を重ねながら、新しく整備する「さとの湯」のコンセプトや施設整備・施設運営に関する基本的な方向性などを定めた「城崎温泉交流センター整備基本計画」を策定いたしました。

新しくリニューアルするさとの湯が、地域の活性化並びに本市の観光振興に寄与するよう、この基本計画に基づいて施設整備を推進してまいります。

最後になりますが、策定にあたり熱心に協議いただいた「城崎温泉交流センター基本計画検討会」の皆様方に、心より感謝申し上げます。

2025年3月

豊岡市長 関貫 久仁郎

【 これまでの経緯 】

年 度	内 容
2000年度	城崎温泉交流センター開業
2020～2021年度	城崎・港地域デザイン懇談会を開催
2022年度	城崎地域における公共施設に係るサウンディング型市場調査を実施
2023年度	城崎地域公共施設在り方検討会を開催 ※ 城崎地域公共施設における機能集約の方向性を決定 城崎温泉交流センター休館（2024年3月末）
2024年度	城崎温泉交流センター整備基本計画策定

※ 城崎地域公共施設在り方検討会の内容は市ホームページに掲載しています。

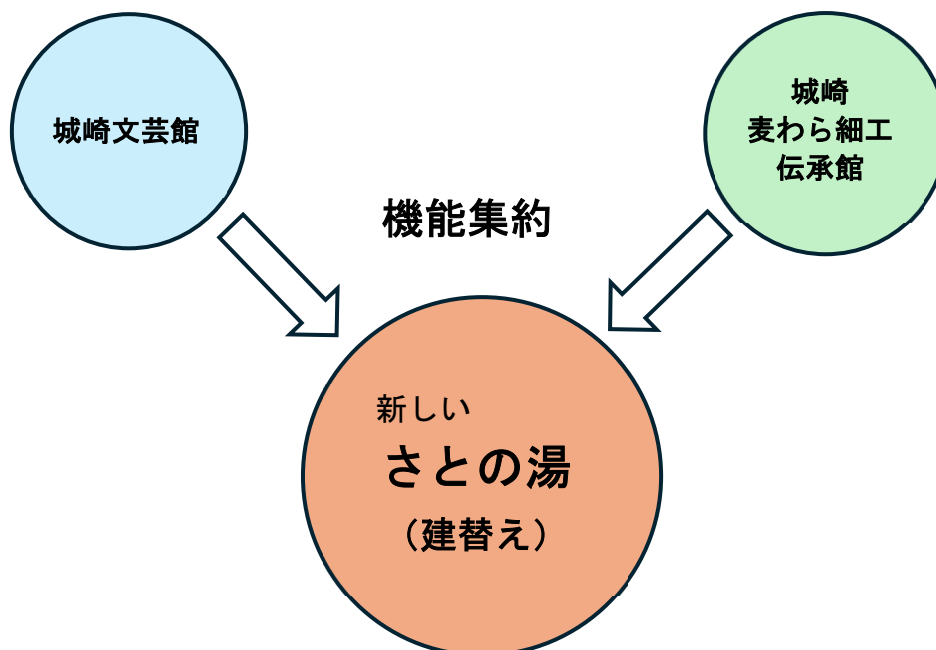
トップページ > 市政情報・採用情報 > 行財政改革・指定管理者 >

公共施設マネジメント > 城崎地域公共施設在り方検討会

※ 右記QRコードからもご覧いただけます。



【 城崎地域公共施設における機能集約の方向性 】



1. 基本理念

1-1. 施設の基本的な考え方

これまでの経緯と、豊岡市が掲げる基本構想の戦略目標「ローカルであること、地域固有であることを通じて世界の人々から尊敬され、尊重されるまち」を踏まえ、市民や観光客にとって使いやすく、城崎温泉の魅力を向上させるような施設へリニューアル（新築建替え）します。

リニューアルに際しては、過去の経緯を踏まえ、施設の規模や構造を適正化し、将来にわたり過大な負担を残さないよう、維持管理のしやすい運営コストに配慮した持続可能な施設とすることを目指します。

また、公共施設の集約化の観点から、既存の城崎文芸館および城崎麦わら細工伝承館の機能を「さとの湯」に統合し、城崎の豊かな歴史・文化や温泉の魅力を一体的に発信する拠点として整備するとともに、麦わら細工の展示や体験を通じて、地域固有の文化を継承し、新たな魅力を創出します。

加えて、本市の重要な観光資源である城崎温泉において、さらなる賑わいを創出することは、本市への観光誘因を高め、市内の他の地域への周遊観光の増加や地域経済の活性化につながることから、豊岡市の観光の玄関口にもなるよう施設づくりを進めます。

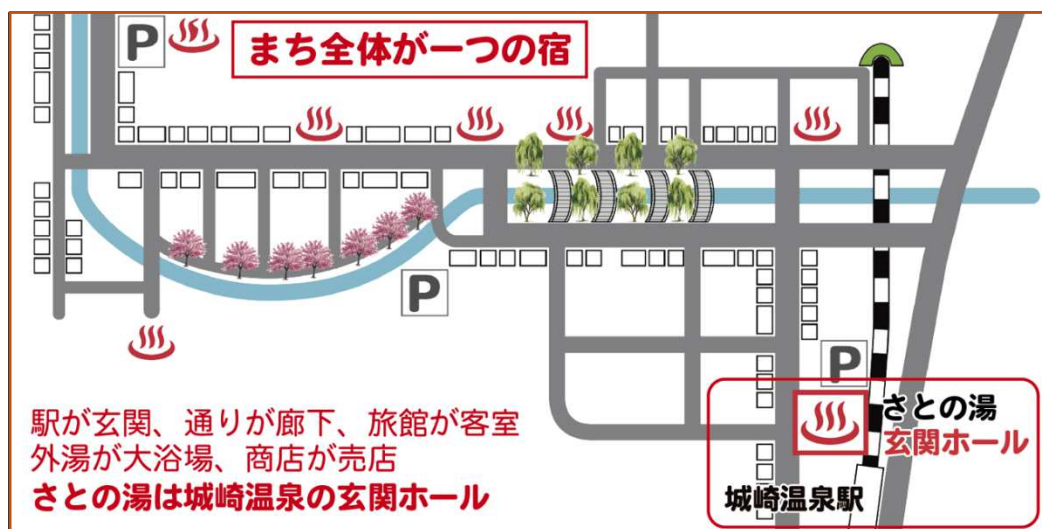
関連する市の上位計画等
○ 豊岡市公共施設再編計画（2016年11月策定）
○ 豊岡市基本構想（2018年度～2029年度）
○ 豊岡市市政経営方針（2022年度～2025年度） ＜基本構想におけるめざすまちの将来像＞ 小さな世界都市 - Local & Global City - ローカルであること、地域固有であることを通じて世界の人々から尊敬され、尊重されるまち ＜基本構想戦略体系に基づく取組方針（抜粋）＞ 主要手段2 地域の歴史、伝統、文化が守られ、新しい工夫が加わり、引き継がれている 具体的取組（1）伝統的な町並みなどが大切にされ、活用されている 取組方針 ア 地域固有のもの（こと）に価値があることが認識されている イ 地域資源の価値が高まっている ウ 地域資源の価値の保全や再生の活動が活発になされている 具体的取組（2）地域の資源が発掘され、つながり、連携が強まっている 取組方針 ア 官民連携による新たなツーリズムが生まれている イ 地域間や産業間のつながりが深まっている ウ 必要な情報がターゲットに届いている

1-2. 施設のコンセプト

「まち全体が一つの宿」という城崎温泉のコンセプトに基づき、これまで通り「さとの湯」を七つの外湯の一つと位置付けるとともに、ＪＲ城崎温泉駅前という城崎温泉の玄関口という立地を活かし、城崎温泉に訪れた人々を温かく迎え、温泉街へいざない、そして帰路につく人々をお見送りする場として、「城崎温泉の玄関ホール」をコンセプトとした施設整備を行います。

具体的には、駅を降りた観光客が最初に訪れる場所として、城崎温泉の歴史や文化、温泉の楽しみ方などの情報を提供し、地域への期待感を高めるとともに、滞在中の回遊を促す役割を担います。また、駅の待合機能も一部担うこととし、雨天時や列車待ちの時間にも快適に過ごせる空間を提供します。

さらに、城崎温泉の魅力をより深く理解してもらえよう、麦わら細工や文学といった地域文化に触れる機会を提供します。



2. 施設計画

2-1. 施設全体の構成

新たな「さとの湯」の整備にあたっては、その敷地を、現在の「さとの湯」敷地を基本としつつ、将来の利用状況や周辺環境の変化に対応できるよう、柔軟な敷地活用を検討します。具体的には、必要に応じて隣接するＪＲ西日本からの借用地や市営城崎温泉駅前駐車場敷地の活用も視野に入れながら、全体計画を進めます。

施設全体の構成としては、城崎温泉の魅力を高め、多様な利用者のニーズに応えるため、以下の機能を備えることとします。

(1) 温浴機能

- ① 特色があって浴室やゆったりくつろげる休憩室等を整備します。
- ② 多様な人々が楽しめる魅力ある空間づくりを行います。

(2) ふれあい機能

- ① 城崎文芸館と城崎麦わら細工伝承館の機能を統合し、ふれあいゾーンを設けて展示を行います。
- ② ＪＲ城崎温泉駅の待合スペースとしての機能も含め、駅前のさらなるにぎわいをもたらす場となるよう整備します。

2-2. 施設整備を行う上での考え方

- ① 1日の入浴者数を平均600人程度と想定した運営を計画し、それに基づく施設整備を行います。
- ② サウナを整備する方向で検討します。
- ③ 「歴史・文学の魅力」や「麦わら細工」の展示は、現物展示にこだわらず、パネルによる紹介やゆかりのある場所の案内などの方法も検討します。
- ④ 展示を効果的に行うため、ふれあいゾーンだけではなく、施設全体に展示することも検討します。

- ⑤ NPO法人「本と温泉」等の地域資源の活用の場とします。
- ⑥ 麦わら細工については、ふれあいゾーンでの作品展示に加え、城崎麦わら細工振興協議会等と連携し、製作体験ワークショップができるスペースを確保します。
- ⑦ 麦わら細工用に、染色場を含む製作等に必要な設備も設けます。また、体験の様子を見学できるレイアウトも検討します。
- ⑧ 災害時の一時的な退避場所としての利用やイベント利用なども想定して検討します。
- ⑨ 施設管理に必要な事務所、更衣室などを整備します。

2-3. 施設全体

- ① 施設規模は、「温浴機能」や「ふれあい機能」に必要な面積を確保することを前提に、できるだけコンパクトなものとなるように検討します。
- ② 敷地地盤が軟弱であることや、既存地中構造物の有効活用を図る観点から、建物重量に配慮した構造となるよう検討します。
- ③ 計画にあたっては、維持管理費用の低減につながるよう検討します。
- ④ 維持管理費の抑制と脱炭素のため、断熱性能の向上など省エネルギー化に努め、再生可能エネルギーの活用も検討します。
- ⑤ 多様な人々が、それぞれの楽しみ方で温泉を楽しめるような、ユニバーサルデザインの考え方をできるだけ取り入れます。
- ⑥ 城崎温泉街の景観を意識した建物の外観デザインとします。周辺の景観との調和を図りつつ、来訪者を引きつけるデザインの必要性も考慮します。

2-4. JR西日本との連携・協議

- ① JR城崎温泉駅からの来訪者動線や駅の待合スペースの活用等を通じて、「さとの湯」および城崎温泉の魅力発信が可能となるよう協議を行います。
- ② 敷地がJR城崎温泉駅の駅舎および線路に隣接することから、線路等近接工事に関する協議を行います。
- ③ 敷地の一部がJR西日本からの借用地であるため、借用地は引き続き借用することを前提にJR西日本と協議します。なお、借用地での用途については、土地使用料の負担を踏まえて検討します。

3. 施設運営についての考え方

施設運営にあたっては、運営の効率化・コスト削減を図るとともに、地域経済の活性化に資するため、以下の方針とします。

3-1. 施設運営方法

- ① 運営管理にあたっては、指定管理制度を採用します。
- ② 利用料金制を採用し、指定管理料は0円を基本として検討します。
- ③ 施設の管理責任区分、修繕料の負担等のリスク分担を明確にした上で、指定管理者と協定を結びます。
- ④ 施設の営業時間については、利用状況の見通しや地域の実情などを勘案して検討します。

3-2. 入浴料金体系について

入浴料については、泉源を所有する城崎町湯島財産区と協議・検討します。

4. 市営城崎温泉駅前駐車場について

敷地に隣接する市営城崎温泉駅前駐車場については、以下の方針とします。

- ① 建築計画に応じ、建物用地として一部を使用することも検討します。
 - ② 運営については、「さとの湯」との一体経営とすることも検討します。
- 検討にあたっては、将来の温泉街の駐車場需要も勘案します。

5. 整備スケジュール（予定）

年度	2024	2025	2026	2027	2028
解体工事	設計	解体工事			
実施設計		設計	設計完了		
建築工事				着工	工事完成

リニューアル
オープン

※ 関係機関との協議により、スケジュールが変更になる可能性があります。

6. 施設整備の進め方

施設整備や運営方法の検討にあたっては、泉源の所有者である城崎町湯島財産区や地域の関係団体等と意見交換しながら進めます。

【資料】豊岡市立城崎温泉観光センター整備基本計画

城崎温泉交流センター基本計画検討会

1 基本計画検討会構成団体

城崎町湯島財産区	城崎町町内会長会
一般社団法人 城崎温泉観光協会	豊岡市商工会 城崎支部青年部
株式会社 湯のまち城崎	豊岡市商工会 城崎支部女性部
城崎温泉旅館協同組合	城崎駅通り振興協議会
NPO法人 本と温泉	コミュニティ城崎
城崎麦わら細工振興協議会	城崎・港若者会議等

検討会の開催期日（6回開催）

第1回 2024年6月6日	第4回 2024年11月19日
第2回 2024年7月10日	第5回 2025年2月18日
第3回 2024年8月21日	第6回 2025年3月5日

2 【分科会】施設運営検討会構成団体

一般社団法人 城崎温泉観光協会
株式会社 湯のまち城崎
城崎町湯島財産区

検討会の開催期日（3回開催）

第1回 2024年9月24日	第3回 2025年1月23日
第2回 2024年10月25日	

☆ 本計画策定までの協議の内容等については、豊岡市のホームページに掲載しています。

■対象ページ

トップページ > 市政情報 > 地域からの情報 > 城崎地域 >
城崎温泉交流センター基本計画検討会

※右記QRコードからもご覧いただけます。



豊岡市立城崎温泉交流センター整備基本計画

2025（令和7）年 3月

豊岡市 城崎振興局 地域振興課

〒669-6195 兵庫県豊岡市城崎町桃島1057-1

TEL : 0796-21-9065

URL <https://www.city.toyooka.lg.jp>